

2026年度 事業計画書

事業年度 自 2026年 4月 1日
(第17期) 至 2027年 3月31日

公益社団法人日本パブリックゴルフ協会
東京都中央区入船二丁目10号8番

(A001891)

2026年度事業計画書目次

■ 協会の概要		
1. ゴルフ業界の現状	1
2. 当法人の現況に関する事項	1
(1) 主要な事業内容	1
(2) 役員会等に関する事項	2
(3) 対処すべき課題	2
■ 公益目的事業1. ゴルフ競技会開催事業		
1. 概況	4
2. 開催競技日程一覧	5
3. 機関紙発行事業	6
■ 公益目的事業2. ゴルフ普及振興事業		
1. セミナー・研修事業	7
2. 交流・協力事業	7
3. 調査・研究事業	7
■ その他の事業1. 収益事業 ハンディキャップ普及振興事業		
1. ハンディキャップ普及振興事業	8
2. コースレート査定事業	8
■ その他の事業2. 助成金事業	8

■協会の概要

1. ゴルフ業界の現状

2024年度のゴルフ場利用者数は、2023年度以降2年連続で減少し、前年度比では2,182千人、2.4%減少した87,502千人となった。然しながら、コロナ禍前の2019年度と比較すると1,533千人の増加となっている。

コロナ禍で誕生した若年層や女性ゴルファーを引き留める施策に加え、新たなゴルファーの創造に取り組むことがゴルフ界全体の課題であると考え。公益法人の当協会としては、引き続き協会方針である全てのアマチュアゴルファーと、ゴルフ普及のための活動を推進していくことが責務であると考え、様々な取り組みを実行していく。

【参考:ゴルフ場利用者数の推移】

年度	利用者数 (千人)	増減 (千人)	同比率 (%)	ゴルフ場数 (場)	1ゴルフ場当たり 利用者数 (人)
2015年度	87,753	1,248	1.4	2,317	37,874
2016年度	85,780	▲1,973	▲2.3	2,282	37,590
2017年度	85,538	▲243	▲0.3	2,257	37,899
2018年度	84,875	▲663	▲0.8	2,248	37,756
2019年度	85,969	1,095	1.3	2,227	38,603
2020年度	81,347	▲4,623	▲5.4	2,216	36,709
2021年度	89,694	8,347	10.3	2,207	40,641
2022年度	91,290	1,596	1.8	2,196	41,571
2023年度	89,683	▲1,607	▲1.8	2,187	41,007
2024年度	87,502	▲2,182	▲2.4	2,172	40,286

注) 出典: 一般社団法人日本ゴルフ場経営者協会調べ

2. 当法人の現況に関する事項

(1) 主要な事業内容

事業	主要な内容
公益目的事業(定款第4条) 【公益目的事業 1】 ゴルフ競技会開催事業	国民の健康の保持増進、余暇活動の充実、青少年の健全な育成等豊かな国民生活の実現への寄与を目的とし、アマチュアゴルファーによるゴルフ競技会を開催して、生涯スポーツのゴルフの普及振興を図る事業
公益目的事業(定款第4条)【公益目的事業 2】 ゴルフ普及振興事業	国民の健康の保持増進、余暇活動の充実、青少年の健全な育成等豊かな国民生活の実現への寄与を目的とし、ゴルフに関するセミナー・研修、交流・協力、調査・研究事業を行い、生涯スポーツであるゴルフの普及振興を図る事業
その他の事業(定款第4条) 【収益事業】 ハンディキャップ普及振興事業	ゴルフは老若男女、年齢、性別を問わず同じ土俵(同一条件)で楽しめるスポーツである。そのための前提となる公平な統一ハンディキャップの普及振興事業、及びその前提となるコースレート査定事業
その他の事業(定款第4条) 【助成金事業】	ゴルフの普及振興を目的に活動する団体を支援する観点から助成する事業

(2) 役員会等に関する事項

① 定時社員総会

定時社員総会	開催予定日	開催場所
	2026年6月15日	ホテルマイステイズ新大阪(大阪府)
< 議案(予定) >		
決議事項	第1号議案	役員改選承認の件
	第2号議案	2025年度財務諸表及び附属明細書並びに財産目録承認の件
報告事項	第1号報告	2025年度事業報告の件
	第2号報告	2026年度事業計画の件
	第3号報告	2026年度正味財産増減予算の件

② 理事会

	開催予定日	開催予定場所
第1回	2026年 5月下旬	書面理事会
第2回	2026年 6月15日	ホテルマイステイズ新大阪(大阪府)
第3回	2026年 6月15日	ホテルマイステイズ新大阪(大阪府)
第4回	2026年11月 4日	未定(中部日本地区)
第5回	2027年 3月 3日	未定(東日本地区)

③ 幹部会

第1回	2026年 6月15日	ホテルマイステイズ新大阪(大阪府)
第2回	2026年11月 4日	未定(中部日本地区)
第3回	2027年 3月 3日	未定(東日本地区)

④ 委員会(総務・財務、事業・ハンディキャップ、競技)

第1回	2026年 4月	WEB 会議
第2回	2026年 9月	WEB 会議
第3回	2026年12月	WEB 会議

⑤ 全国運営委員会

第1回	2026年 8月21日	WEB 会議
第2回	2027年 2月 5日	WEB 会議

⑥ スポンサー会議

第1回	2026年9月下旬～10月初旬	未定(東京都内)
-----	-----------------	----------

(3) 対処すべき課題

① 競技参加者数の拡大

競技参加者数は、競技開催会場の減少が要因となり、2007年度をピークにして以降は減少傾向が続いている。2025年度は選手権競技11,557名(前年度対比68名減少、▲0.6%)、その他競技18,783名(前年度対比402名増加、+2.2%)、合計は30,340名(前年度対比334名増加、+1.1%)となる見込みである。

公益法人のゴルフ競技団体である当協会にとって、競技参加者数の拡大は最も重要な課題である。そのため、選手権競技に関しては、8競技予選を全加盟コースにて開催することを機関決定し、2026年度は前年より65会場増加の342会場で開催する。また、アンダー

ハンディ競技は、参加資格を全てのハンディ取得者に開放し、競技参加者数の拡大施策を昨年度に引き続き実施する予定である。その他、PGSホームページを全面リニューアルし、競技情報を探しやすく、使いやすいサイトとすることで参加者の利便性向上を図っていく。さらに、ハンディキャップインデックスを取得している女性を対象とした「WOMEN'S GOLF FESTA」を春と秋に2回開催するなど、今後もアマチュアゴルファーのあらゆるニーズに応えた、競技会の提供と適切な競技運営の実施及び、競技人口の拡大に繋がる施策の実行が課題である。

②ハンディキャップ普及事業の推進

当協会のハンディキャップインデックス(JGA公式ハンディキャップ)取得者であるPGS会員登録者は、約1万2千名で高額なゴルフ会員権の取得を必要とせず、誰でも低廉な登録料で手軽に取得できることから、多くのアマチュアゴルファーの支持を得ているが、加盟コースの退会等の影響から取得者は増加していない。

ハンディキャップの普及事業の推進には、ゴルフ競技団体の特性を活かし、取得したハンディキャップインデックスが使用出来る競技会を、数多く提供することが効果的であると考え、スポンサー杯競技の一競技を同日複数会場で開催出来る、スロープレーティングの特性を活かした競技方法を、一部地区では2015年度から開始し、2021年度には全地区で開催して競技参加者の大幅な増加に繋がった。また、全国の加盟コースで同日開催する「全日本スロープレートアンダーハンディ競技」やJGAと共催の「スポーツ庁長官杯ゴルフフェスタ全国大会」、「PGSチャリティー東日本スクラッチアマチュアゴルファーズ選手権」、「ガチごる5」の他、社会人ゴルファーを対象とした「全日本ビジネスゴルファーズ選手権」個人戦・ダブルス戦、さらに女性を対象とした「WOMEN'S GOLF FESTA」を年2回開催し、ハンディキャップインデックスを使用出来る数多くの競技会を開催し、取得者の拡大活動を行っている。

ハンディキャップインデックス取得者の増加には、加盟コースを通じた勧誘に加え、他団体との連携を取り広く募集出来る施策の実行が課題であると共に、公益法人のゴルフ競技団体としては、全てのハンディキャップインデックス取得者に広く競技会を開放し、加盟コースに於いて数多くのアンダーハンディ競技を開催する体制を整えることが重要である。

③正会員・準会員・賛助会員の拡大

正会員・準会員数は、2009年度の90団体をピークとして、2025年度末には54団体まで減少した。そこで、2026年度に年会費を値下げし入会し易い環境を整え、ゴルフの活性化や事業の発展を目指すゴルフ場を対象に、ゴルフ競技の開催やコースレーティングの取得を通して、勧誘活動を積極的に推進する。

また、賛助会員は2022年11月に会員制度を口数制度(1口50,000円から)に変更したことを受け、賛助会員数は2025年度末には20団体となった。ゴルフ関連企業に拘わらずゴルファー周辺企業も含め、賛助会員の勧誘活動に取り組んでいく。

■公益目的事業1. ゴルフ競技会開催事業

1. 概況

ゴルフの普及振興を図るために、全国でアマチュアゴルファーを対象としたゴルフ競技会を開催する。

2026年度は、加盟コースは選手権競技(スクラッチ競技)8競技の予選を原則開催し開催会場を増加させると共に、開催会場を加盟コースに限定せず、加盟コースの姉妹コースや協会未加盟コース等に拡大して引き続き開催。会員外コースの協力の下、参加者増を目指す。また、インターネットエントリーを継続し、参加者の利便性向上を図る。

3. 機関紙発行事業

競技開催案内、年間競技スケジュール、競技の模様、競技成績並びにアマチュアゴルファーの啓蒙等を目的として、機関紙「PGSニュースNo.94」を2027年3月に発刊する。機関紙発行事業は2014年度より独立行政法人日本スポーツ振興センター（JSC）の助成を受けて実施しており、2026年度も1月に助成申請を行った。助成が受けられる場合、PGSニュースに連動させたメールマガジンを配信（月2回程度を予定）し、PGS主催競技を始め、ゴルフに関する情報をタイムリーに提供していく。

■公益目的事業2. ゴルフ普及振興事業

1. セミナー・研修事業

(1) PGSセミナー開催予定

日時	2026年6月15日(月)	場所	ホテルマイステイズ新大阪(大阪府)
テーマ	未定	講師	未定

(2) 研修会開催予定

①グリーンキーパー研修会

日時	未定	場所	未定
テーマ	未定	講師	未定

(3) ルール講習会

日時	未定	場所	未定
テーマ	未定	講師	未定

2. 交流・協力事業

ゴルフの普及振興のために、諸団体と連携・協力してゴルフ市場の活性化に向けた事業を展開する。

(1) 2026年度の交流・協力事業

- ①日本ゴルフサミット会議との連携
- ②ゴルフ市場活性化委員会(GMAC)との連携
- ③JGA ゴルフ振興推進本部との連携
- ④NPO 日本ジュニアゴルファー育成協議会(JGC)との連携

3. 調査・研究事業

(1) 2026年度調査・研究事業

①2026年度スポンサー杯アンケート

PGS主催競技出場選手並びにPGS会員登録者を対象に、性別、年代、ハンディキャップ、スポンサー杯出場経験や賞品等について調査を実施する。(スポンサー杯:ダンロップ杯、ブリヂストン杯、中部ハンディ杯)

■その他の事業1 収益事業 ハンディキャップ普及振興事業

1. ハンディキャップ普及振興事業

2025年度も引き続き、公平な統一ハンディキャップ(JGA公式ハンディキャップ)の普及、ハンディキャップインデックス取得者の拡大を推進する。今後もさらなるハンディキャップインデックス取得者の増加、ハンディキャップ普及に繋げていく。

なお、当事業の規模拡大を図るため、2026年度もスロープレーティングによるアンダーハンディ競技の拡大に加え、「全日本スクランブルアマチュアゴルフフェーズ選手権」、「PGSチャリティー東日本ダブルスゴルフ選手権」、「PGSチャリティー東日本スクラッチアマチュアゴルフフェーズ選手権」、「PGS中部日本ダブルス選手権競技」、「ガチごる5」を開催するとともに、2024年に新設した女性ハンディキャップインデックス取得者を対象とした「WOMEN'S GOLF FESTA」を春と秋に2回開催する。

また、社会人ゴルファーを対象とした「全日本ビジネスゴルファーズ選手権」を開催するなど、ハンディキャップインデックス取得者の拡大に繋がる競技会を開催していく。

【参考:ハンディキャップインデックス取得者の推移】

単位:名

2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
15,516	15,833	14,312	12,257	12,530
2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度計画
12,831	11,949	11,180	12,300	12,000

【参考:ハンディキャップインデックスの導入状況】

2006年4月現在(導入率72%)

	東	中部	西	合計
会員数	33	11	42	86
JGA採用	31	10	21	62

⇒

2026年3月現在(導入率98%)

東	中部	西	合計
19	8	27	54
18	8	27	53

2. コースレーティング査定事業

(1) 2026年度コースレーティング再査定予定コース

コース名	前回査定日	認定期間
ウッドフレンズ名古屋港ゴルフ倶楽部	2016.9.27	2026年
つるやカントリークラブ 西宮北コース	2016.11.29	2026年

(2) コースレーティング再査定申請済 再査定待ちコース

コース名	申請年
紫カントリークラブ あやめコース	2025年
京都大原パブリックコース	2023年
大阪パブリックゴルフ場	2023年
湯村カントリークラブ	2023年

■その他の事業2. 助成金事業

2026年度もゴルフの普及振興を目的に活動する団体に対し、助成を実施する。

1. NPO法人日本ジュニアゴルファー育成協議会